

その5

特に気をつけてほしい
重症になりやすい人がいます
持病のある人は、かかりつけ医に相談を

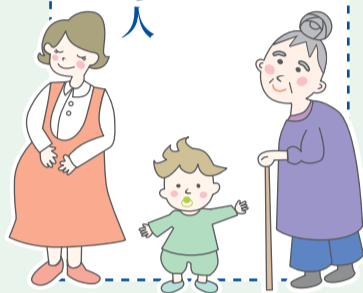
持病のある人の中には、治療の経過や管理の状況により、インフルエンザに感染すると重症になりやすいと判断される人がいます。特に左記に該当する人はかかりつけ医に相談し、「うつらない」よう感染を防ぐための習慣をつけましょう。

- ・ 慢性の呼吸器の病氣
(ぜんそく・在宅酸素を使っている人など)
- ・ 慢性の心臓の病氣
- ・ 慢性の腎臓の病氣・透析をしている人
- ・ 糖尿病やステロイド治療などにより免疫機能が低下している時(抵抗力が弱い)



次に該当する人についても、インフルエンザが重症化することがあると報告されています。感染予防をこころがけ、かかりつけ医がいる人は、発熱時の対応について相談しておきましょう。

- ・ 高齢者
- ・ 乳幼児
- ・ 妊娠中の人



医師に聞きました

(財)先端医療振興財団
先端医療センター 病院長 西尾利一



子どもは重症になりやすいので注意を

子どもが新型インフルエンザにかかると次のような症状を起こす場合があります。

- ・ 呼吸が苦しくなる
 - ・ 皮膚が白くなる
 - ・ すぐに吐く
 - ・ 元気がなく、ぐったりする
 - ・ いったん熱が下がって再び発熱する
- このような場合は、肺炎や脳炎を起こしている可能性があります。かかりつけ医などに電話で相談した上で、診察を受けてください。

ここに気をつけましょう

【糖尿病の人】

血糖コントロールのよくない人、合併症のある人などは重症になりやすいので注意が必要です。糖尿病にも関わらず治療していない人は、病氣への抵抗力が弱いと感染にかかりやすくなります。定期的を受診して、普段から血糖値をよい状態にしておきましょう。

※くわしくは国立国際医療センターのホームページ
(http://imj-dmj.jp/center/topics_01.html) をご覧ください。

【透析をしている人】

腎臓の解毒作用が十分でなく、病氣への抵抗力が弱いため、感染症にかかりやすいといわれます。かかりつけ医・主治医にいざというときの対応を相談しておきましょう。

※くわしくは日本透析医学会のホームページ
(<http://www.jsdt.or.jp/>) をご覧ください。

【妊娠中の人】

季節性インフルエンザに感染すると、症状が重くなり肺炎などを引き起こすことがあります。新型インフルエンザに関しては、まだデータが不十分ですが、妊娠中の人は重症化しやすいといわれているため、お腹の中の赤ちゃんの発育に影響を与えないよう注意が必要です。

※くわしくは日本産婦人科学会のホームページ
(http://www.jsog.or.jp/news/html/announce_20090804a.html) をご覧ください。

その6

取り組んでいること、取り組んでほしいこと

市や国が取り組んでいること

感染症早期探知地域連携システム『神戸モデル』

新型インフルエンザなど感染症の集団発生のきつかけを早く見つけて、地域で広げないために、市と地域・学校・医療機関などが連携を強化します。そのため新たに専任の保健師を区役所に配置して、普段から施設や学校を巡回し、「顔の見える関係」をつくりながら指導・助言をしていきます。また感染症対策特別講座を開催し、社会福祉施設や学校の職員に感染症の知識をつけていただきます。

H1N1ワクチンについて

国は、今年中に約二千万本を生産する計画を立てています。どのような人に優先的に接種するのかなどについては、国の方針が決まり次第、進めていきます。

みなさんに取り組んでほしいこと

会社・企業で

事業者に対する事業自粛要請は行っておりません。新型インフルエンザのために多くの社員が休んでも、取引先などから重要な業務が中断しないことを企業は望まれます。そのため、事業継続計画を立てておきましょう。

※くわしくは内閣府の企業防災のホームページ
(<http://www.bousai.go.jp/kigyoubousai/index.html>) をご覧ください。

集会・スポーツ大会などで

一律の自粛要請は行いません。感染を広げないための工夫を主催者の判断でお願いします。例えば、体調が悪い人の参加の自粛を呼びかけたり、会場で正しい衛生手段を行うことを伝えたりするなど運営方法を検討してください。

家庭で

食料品や日用品を備蓄しておく目安です。
※くわしくは農林水産省の家庭用食料品備蓄ガイドのホームページ
(<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/ampo/pdf/gaido.pdf>) をご覧ください。

